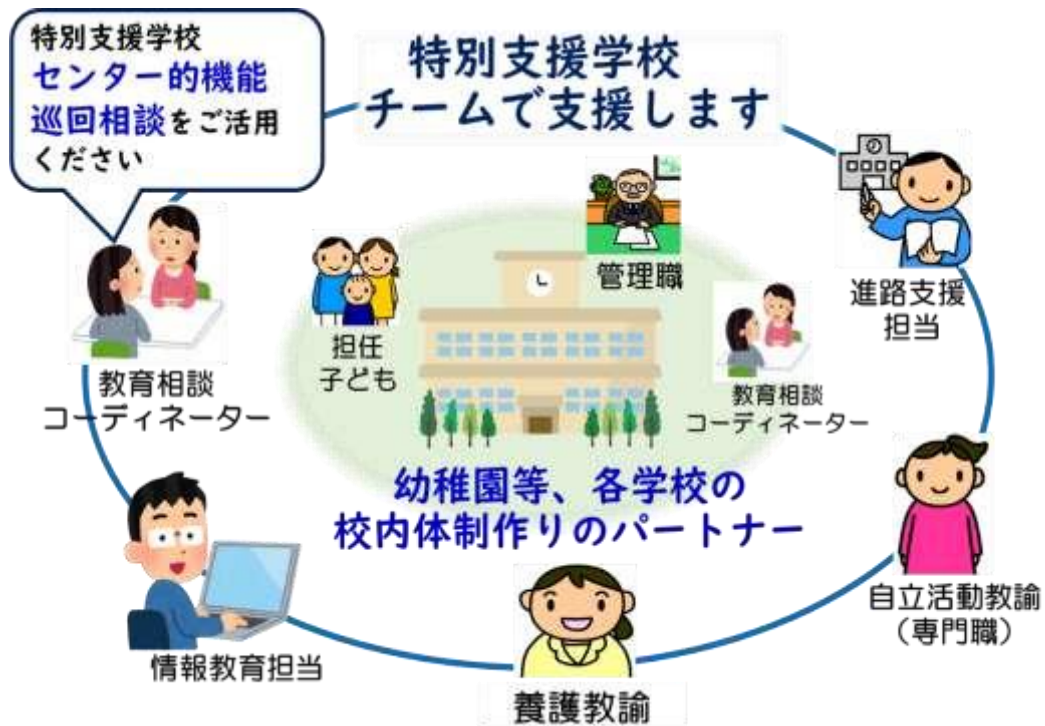


教育相談のしおり



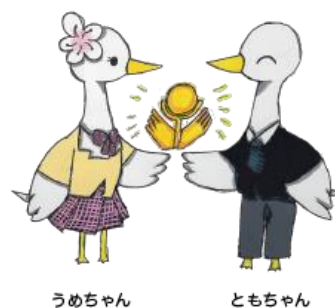
神奈川県立小田原支援学校

支援連携部 教育相談

【目次】

1. 特別支援学校の地域センターとしての役割	2
2. 巡回相談について	3
3. 巡回相談の流れ	4
4. 職員研修会について	5
5. 専門職の活用	6
6. 各種書式	
・ 相談事前資料(様式1)	7
・ 派遣依頼文書サンプル	8
・ ケース会レジュメ用紙(参考)	9

おだわらしえん ゆるきやら



連絡先

神奈川県立小田原支援学校

教育相談担当

こがようこ いのうえまみ ひげたたえこ いしはらなおみ
古賀陽子 ・ 井上麻実 ・ 日下田多恵子 ・ 石原尚美

電話 0465-37-2732 (直通)

1. 特別支援学校の地域センターとしての役割

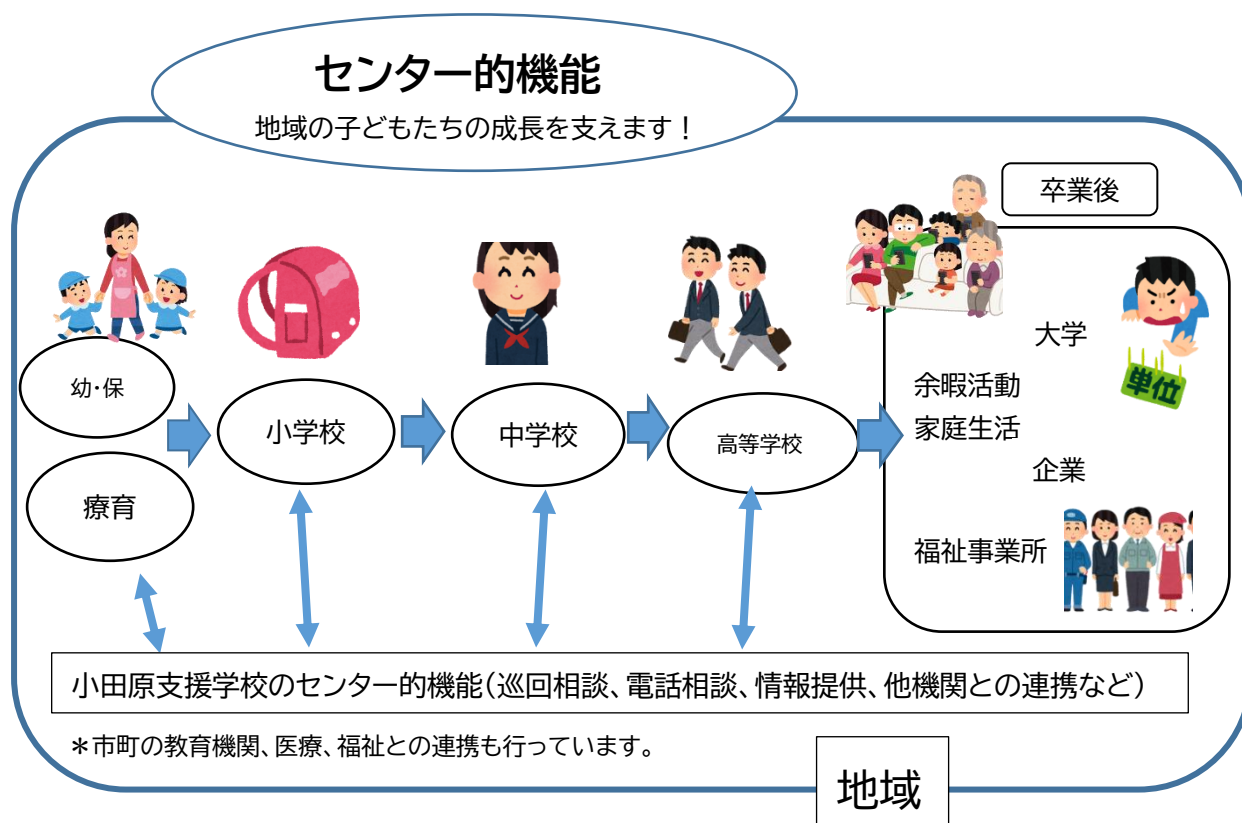
神奈川県では、共生社会の実現に向け、すべての子どもができるだけ同じ場で共に学び共に育つことを目指す、という基本的な考え方のもとで、インクルーシブ教育を推進しています。

特別支援学校は、インクルーシブ教育推進へ向けて、今まで培ってきた専門性を、特別な支援を必要とするすべての子どもたちに対応する支援教育に活かしていくという「センター的機能」という役割を担っています。

小田原支援学校では、センター的機能の一環として、

- ① 巡回相談
- ② 電話・来校による相談
- ③ 職員研修会・・・支援教育、インクルーシブ教育、進路支援などの研修会

などを行っていますので、ぜひご活用ください。



*外部相談機関に連絡する前に、支援策に基づき、校内の職員で連携をとり、実践しましょう。

そして、考えた支援策で改善がみられなかった場合、外部の相談機関に、その情報も伝えましょう。

2.巡回相談について

■巡回相談とは

- ・教育相談担当が、学校に訪問して対象の生徒の行動観察をし、見立てや今後の支援方法について、先生方と一緒に考えます。
- ・生徒たちが抱えている課題や困難さを読み解き、どんな支援をしたら課題や困難を乗り越え成長していけるかを考えます。
- ・生徒たちが、地域で、地域の学校でよりよく暮らし生活していくための支援方法を考えます。

巡回相談の例

例えば・・・こんな生徒いませんか？

- ・授業中に寝てしまい、授業に参加できない
- ・提出課題が出せない
- ・学習してもすぐに忘れる
- ・黒板をノートに写すのに時間がかかる
- ・予定をすぐに忘れてしまう



特別支援学校ならこう見立てます！

- ・読み書きの困難さから、座学への授業への負荷が大きいのではないか。
- ・寝てしまうのは、オーバーフローの状態の可能性もある。

このような支援策を提案します！

- ・「読み」はできるのか？・アセスメントの実施・STの協力
- ・合理的配慮・タイピングやタブレットでの撮影等、ICTの活用。テスト時間等の延長など。
- ・課題の量や時間、座席配置等の工夫

例えば・・・こんな生徒いませんか？

- ・何度も特別指導の対象になっている。その都度反省するが、同じことを繰り返す。
- ・遅刻が多い。
- ・明るく、友達とはコミュニケーションをとれるが、何かの拍子にカッとなることがある。



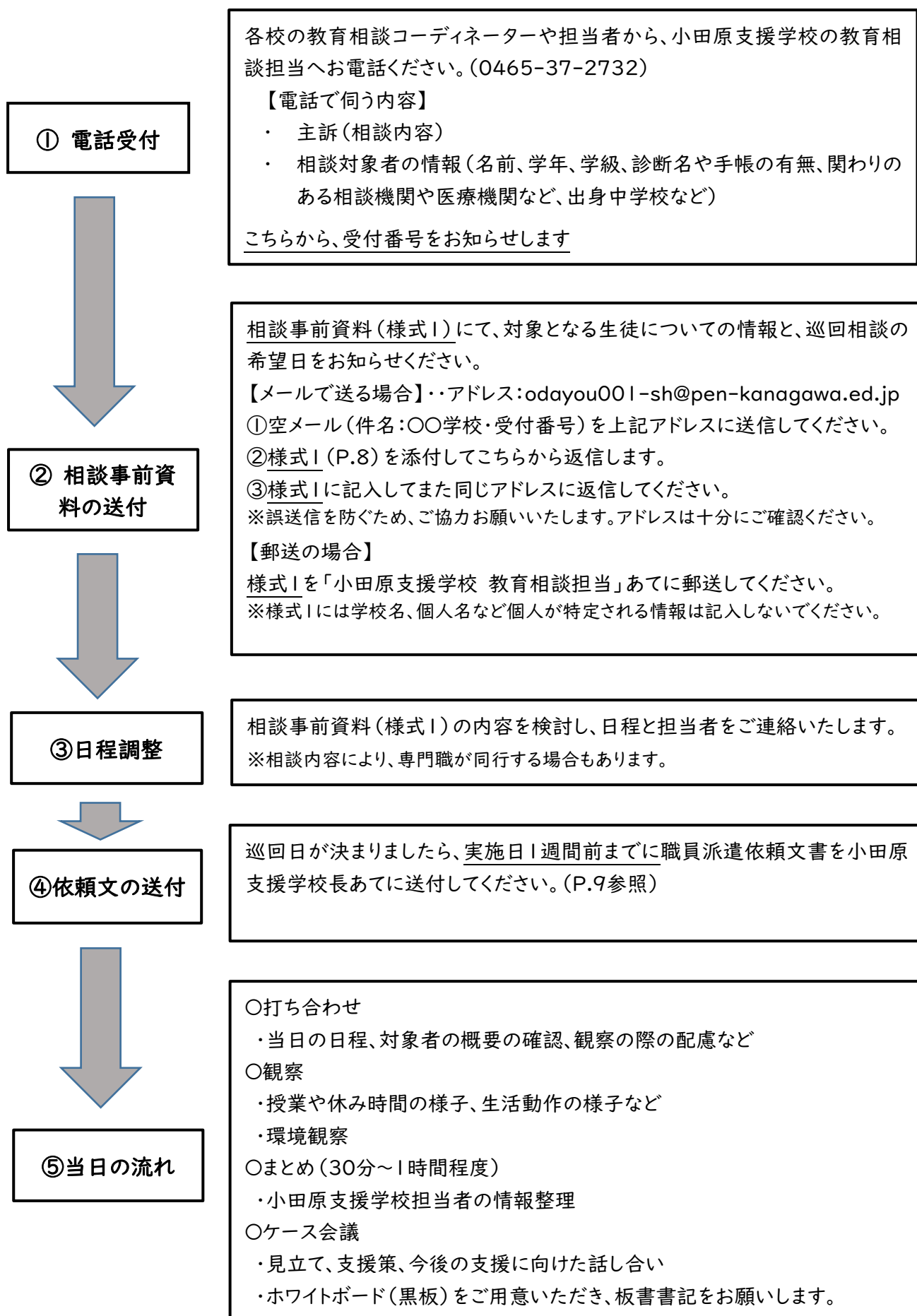
特別支援学校ならこう見立てます！

- ・理論的思考、問題解決、判断、計画性及び経験からの学習に弱さがあるのではないか。
- ・ADHD特性があるのではないか。
- ・対人ストレスが積み重なっている可能性もある。

このような支援策を提案します！

- ・反省を促すことは効果が薄く、悪化させる場合もある。個別に視覚的に約束事やルールを伝えて守ることができたことをフィードバックする。
- ・SSTを通して適切なコミュニケーション方法を具体的に学べるようにする。
- ・クールダウンの方法も獲得できるとよい。

3. 巡回相談の流れ



4.職員研修会について

■職員研修会とは

支援に活かせる様々な研修会を、特別支援学校の職員が行います。

■派遣職員

教育相談コーディネーター、進路支援担当、専門職、本校職員など

■依頼方法

まず、本校教育相談担当にお電話でご相談ください。

■研修会の内容例

- ・ 支援を必要とする生徒の見立てや支援方法
- ・ インクルーシブ教育について
- ・ 進路支援・自立と社会参加へ向けて、学校でできること
- ・ 肢体不自由と病弱教育
- ・ 障害特性の理解と支援
- ・ 教室の環境整備と構造化
- ・ 地域の学校と支援学校の連携 など

5.専門職の活用

小田原支援学校には現在、理学療法士が配置されています。教育相談コーディネーターと一緒に、各種相談などに専門的な立場から応じています。

理学療法士（PT）とは……

「姿勢・動作」などの身体に関する支援を行います。発達的な視点を取り入れながら身体の特徴を捉え、児童生徒が自分の身体を意識し、主体性を持って授業に参加しやすいように、先生方と一緒に支援方法について考えます。

こんな相談に応じます

・姿勢・運動

姿勢保持が難しい、動きがぎこちない、体育の運動の取り組み方など

・補装具・車椅子

車椅子・靴・歩行器・装具等の使用目的調整、車椅子・補装具の修理や作製に関する助言など

・身体の特徴・変化

関節の状態や筋力、動きの特徴などの助言・確認、医療機関への相談の必要性や配慮事項の助言など

・教材・教具について

姿勢保持や運動に関する教材・支援グッズの紹介、情報提供など

・環境設定

教室内外の環境設定・調整、使いやすい福祉用具等の情報提供など

・その他

身体に負担が少ない移乗・介助の方法、日常生活用具や福祉機器の種類、利用できる制度についての情報提供など

《専門職の活用(ブロック内活用)》

県立特別支援学校では、自立活動教諭(専門職)として、理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)、心理職を配置しています

県立特別支援学校では県内を5つのブロックに分け、それぞれのブロックごとに配置された自立活動教諭(専門職)が連携を図り、巡回相談、来校相談等が円滑に行われるような体制を作っています。

臨床心理士、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)に巡回相談を依頼したい場合も、小田原支援学校へご相談ください。下図の湘南西部・県西ブロック内の特別支援学校に配置された専門職に依頼をすることができます。

理学療法士(PT)

姿勢・動作など身体に関する支援を行います
身体の特徴をとらえ、補装具(車いすなど)や介助の方法などの環境設定について検討し、総合的に子どもが授業に参加しやすいように一緒に考えます。

作業療法士(OT)

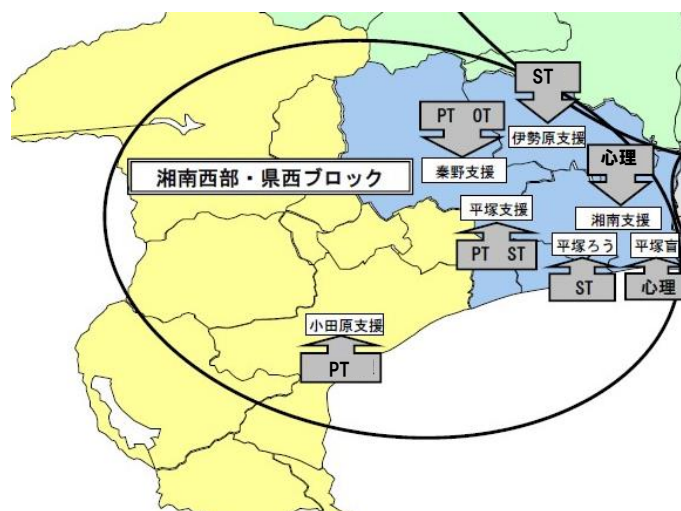
学習や生活、遊びなど、さまざまな活動に関する支援を行います。
その子らしい豊かな生活が送れるよう、食事、着替え、手先の使い方、気になる行動などについて、具体的な支援を一緒に考えます。

言語聴覚士(ST)

ことばやコミュニケーション、食べる力を育むための支援を行います
ことばを話すことや理解すること、また要求の伝え方などのコミュニケーションに関すること食べることについて、子どもが持っている力を発揮できるように一緒に考えます。

心理職(心理)

子どもの認知発達に関する支援やメンタルヘルスを行います
学習面や生活面、友だち関係などの社会性も含め、生きる力を育むことを目指して、発達全般にかかわる支援を行います。
知覚や認知の特性に応じた指導方法や内容を一緒に考えます。



令和8年度 専門職配置図

教育相談 ケース会議

学年 組

さんの支援・指導について

日時: 令和 年 月 日() : ~ :	場所:
出席者:	

★ケース会の目的★

本人について

○疾患や障害・発達

○心理的なこと

○社会性・対人関係の特徴

環境について(家庭、友人、地域、関係機関等)

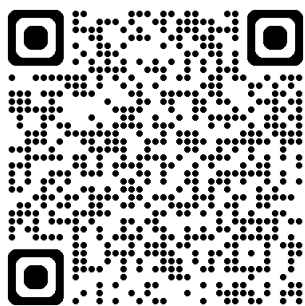
現在行っている支援

課題

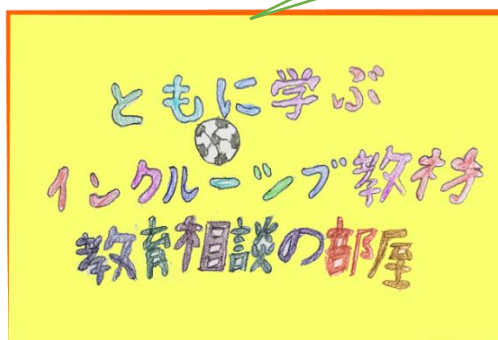
支援目標

支援方針		
	具体的な支援計画	役割分担
1		
2		
3		

小田原支援学校のホームページをごらんください!



小田原支援学校ホームページ



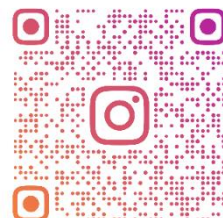
こちらをクリック!

- 教育相談について・・・この「教育相談のしおり」がダウンロードできます。
- インクルーシブ通信・・・足柄小学校でのインクルーシブの取り組みを紹介。
- 居住地交流指導案集・・・居住地交流の記録です。授業の参考に。
- 発達段階に応じた教材教具・・・ことば、記憶、運動、文字の教材紹介。
- 支援連携だより(だよりん)・・・支援にかかわる様々な情報発信。
- 進路のハンドブック・・・進路支援に関する情報の紹介。
- 支援教育スタンダード・・・特別支援学級の運営に役立つ情報の紹介。

神奈川県立小田原支援学校

〒250-0865
小田原市蓮正寺 1021

TEL 0465-37-2732(直通)
FAX 0465-37-5356



ODAWARASIEIN

小田原支援学校公式Instagram
小田原支援学校の支援、インクルーシブ教育などの
情報を発信しています!